

2009年度

科目名	心理学実験実習 I		
担当教員	和田野 康子		
配当	教福2	コード	11310
開期	後期	講時	月曜日1限 月曜日2限
単位数	2		
授業テーマ	心理学実験を通して、心理学研究法の基礎を学ぶ。		
目的と概要	下記に示すテーマの心理学実験に参加し、データの収集と分析のしかたを学習する。また結果を報告するためのレポートの書き方を習得する。		
成績評価法	出席状況と、テーマごとに提出する実験結果のレポートの成績評価を総合して評価する。		
テキスト	なし。必要に応じて資料を配布する。		
参考書	なし。		
履修に当たっての注意・助言	本科目の履修は、心理コース専攻学生のみとする。		
講義計画			
<p>第1回 ①オリエンテーション ②「両側性転移」実験の事前指導</p> <p>第2回 ①「両側性転移」の予備実験実施 ②「両側性転移」の本実験実施</p> <p>第3回 ①「両側性転移」の実験データの整理 ②レポートの書き方の説明</p> <p>第4回 ①「両側性転移」のレポート提出・講評(個別指導) ②錯視についての講義</p> <p>第5回 ①「ミュラー・リヤーの錯視」実験の事前指導 ②「ミュラー・リヤーの錯視」の実験実施</p> <p>第6回 ①t検定の説明 ②「ミュラー・リヤーの錯視」の実験データの整理</p> <p>第7回 ①「両側性転移」の修正レポート提出・講評(個別指導) ②「ミュラー・リヤーの錯視」のレポート提出・講評(個別指導)</p> <p>第8回 ①「両側性転移」の再修正レポート提出・講評(個別指導) ②「ミュラー・リヤーの錯視」の修正レポート提出・講評(個別指導)</p> <p>第9回 ①「触2点閾の測定」の実験実施 ②「触2点閾の測定」の実験データの整理</p> <p>第10回 ①「ミュラー・リヤーの錯視」の再修正レポート提出・講評(個別指導) ②「触2点閾の測定」のレポート提出・講評(個別指導)</p> <p>第11回 ①「触2点閾の測定」の修正レポート提出・講評(個別指導)</p> <p>第12回 ①「要求水準—目標設定行動と満足感—」の実験実施 ②「要求水準—目標設定行動と満足感—」のデータの整理</p> <p>第13回 ①「触2点閾の測定」の再修正レポート提出・講評(個別指導) ②「要求水準—目標設定行動と満足感—」のレポート提出・講評(個別指導)</p> <p>第14回 ①「要求水準—目標設定行動と満足感—」の修正レポート提出・講評(個別指導)</p> <p>第15回 ①「要求水準—目標設定行動と満足感—」の再修正レポート提出・講評(個別指導) ②まとめ</p>			